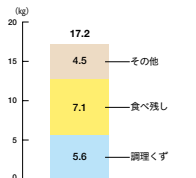


社会の持続可能な発展に向けて取り組もうとする意欲や態度を育てることが、道徳でも求められています。各教科・領域の学びと横断的に関連づけて、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた教育を充実させていくことができる教材を掲載しています。

各教科、総合的な学習の時間、特別活動との関連については、「検討の観点と内容の特色／教材一覧」をご参照ください。



①児童・生徒1人当たりの年間の食品廃棄物の発生量
(平成26年度 学校給食センターからの食品廃棄物の発生量・処理状況調査結果)

上のデータを見てください。

環境省の調査によると、小中学校における学校給食からの食品廃棄物が、年間で児童・生徒が当たり十七・二キログラム発生していることがわかりました。そして、給食から出る食品廃棄物の中で多いのは「食べ残し」という結果になっています。給食から「食品ロス」は出ていないでしょうか。

まだ食べられるものに捨てられてしまふ食品を、これを「食品ロス」といいます。「食品ロス」は、イチゴだけではありません。年間約六、四百万トン。日本では、まだ食べられる食品が、こんなたくさん捨てられています。半分は、食品製造の過程や、食産業から出ている事業系の食品ロス、もう半分は家庭から出ている食品ロスです。日本、食品ロス量は約1,400万トンと低く、多くのお宅でエネルギーを省けて、外国から運ぶ食品を輸入していると思います。しかし、その一方で、平均すると国民一人当たり毎日茶碗一杯分のご飯を捨てていることになるのです。



「ただけじゃって、嫌な感じがするわね」とはあきらめず、「さういふお客さんにおくちで食べていただけたらいいように話しています。お客さんのおくちへ来ていただくなら、さういふ食卓を自分分のあるイチゴを捨ててしまっています。でも、あれもイチゴが足りないから、もう半分だけ買っていただきます。このまま状況が続きますと、今度イチゴ割りの停止も考えざるを得なくなってしまうんです。皆様どうかイチゴを手を最後まで使ってくださいませ。お客様にこんなことを申しわけないです。ご迷惑で大変申し訳なく申しますが、ご理解の力をお願いいたします。」

「人がか、捨てるのであればイチゴをどのような思いでいるかが伝わってきます。」

まだ食べられるものを捨てたことばないだろうか。あるとすればその理由はなんだろう。

▲2年 4 まだ食べられるのに (p.22~25)

食品ロスの問題から、自分の暮らし方を見つめ直します。

難民問題の解決に取り組んだ緒方貞子さんの話から、不平等のない社会、平和な社会について考えます。



④イランのクルド難民キャンプを視察する緒方貞子さん

「ふんてつとない仕事を引き受けてしまったんだろ。これからは、こんなものに乗つて歩くのかあ……」

クルド人とは、トルコ、イランなど数か国にまたがつて住む少数民族で、湾岸戦争を機に、イラクから逃げてきたクルド人が武装蜂起を試みた。イラク軍の弾圧に遭つたようだと、ラディクのちに一八〇万人のクルド人が、イランやトルコ国境地域を自国にした。一四〇〇万人はイラクへ流入し、残りの四〇〇万人の人々などはトルコ国境付近へと逃げたのです。

トルドはかねてより国境のクルド人武装勢力に悩まされていたので、治安保持のためにイラクからトルドに難民を受け入れたのです。これ以上受け入れられないうちに、国境を閉ざしてしました。



着任早々でしたら、難民の大量流入への対策を迫られる状況に、大変なまよいました。イラクのクルド人難民の数が膨らむにつれ、事態は危険な様相を帯び、イラクの難民が越境してきたイラン政府から、「助けに来てほしい」と要請があったのです。私はイラクとトルコに向かい、生まれて初めての大々いへいへゴブタイに乗りました。これはえらいことになった。」

5



一九九一年平成三年、緒方貞子さんはUNHCRの第八代国連難民高等事務官に就任しました。紛争や難民など、自分の国に生みださぬ限り戦争に巻き込まれた人々、難民の保護、救済を行なう仕事です。緒方さんは就任したのは、隣国に他国が侵襲を発生させたとき、イラクにたクルド人が住むところを追われ、隣国のイランやトルコへ逃げようと、国境上大勢押し寄せました。緒方さんは対策を迫られます。

遠い国で困っている人々のために
どんなことができるだろう。

しい山が連なる山岳地帯で、行き場を失ったクルド難民は飢えと寒さに苦しんでいました。その様子がアメリカのテレビ局を通じて放映されると、難民を放置してよいのかという国際世論がわき起こり、セキユリティーゾーン（安全地帯）を設置するようになると、アメリカ政府が多国

④ **多国精軍**
国際連合が武力行使を認めた決議に、複数の国が自主的に編成する軍隊。湾岸戦争ではアメリカを中心に編成された。

③クルド人
イラク、イラン、トルコなどにまたがって住む民族。各国においては少数派だが、全体では二、三千万人といわれている。

▲1年 **22** 歴史を変えた決断 (p.124~129)